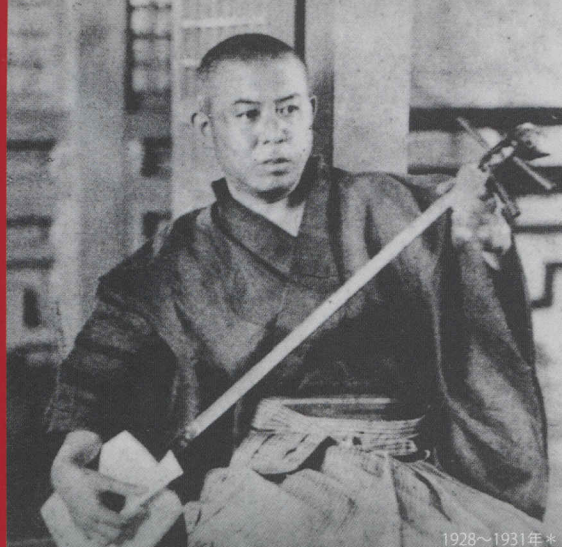


1913年*



1928~1931年*



1927年*



安田乾彦画

TANIZAKI

開館25周年記念 企画展

谷崎潤一郎展

文豪に出会う

JUNICHIRO



TANIZAKI
1886-1965

2014年

9月27日^土 → 11月24日^月 振休

■協力

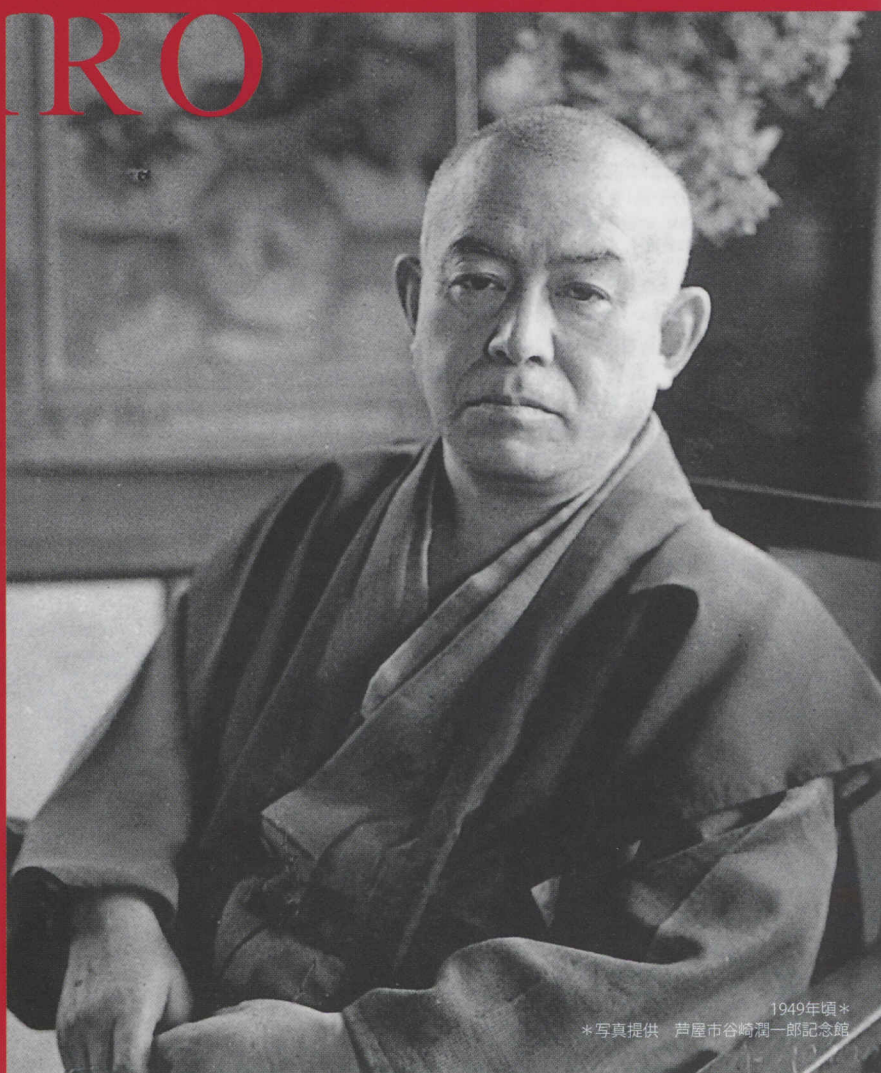
中央公論新社・芦屋市谷崎潤一郎記念館

■後援

富士河口湖町・富士河口湖町教育委員会・NHK甲府放送局・
山梨放送・テレビ山梨・テレビ朝日甲府支局・山梨日日新聞社・
朝日新聞甲府総局・毎日新聞甲府支局・読売新聞甲府支局・
産経新聞社甲府支局・日本経済新聞社甲府支局・
共同通信社甲府支局・時事通信社甲府支局・山梨新報社・
エフエム富士・エフエム甲府・日本ネットワークサービス

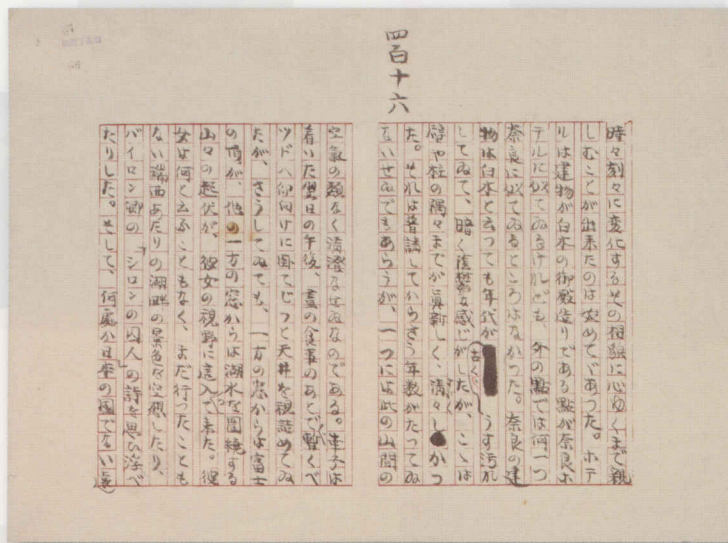
 山梨県立文学館

〒400-0065 山梨県甲府市貢川一丁目5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032
<http://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>

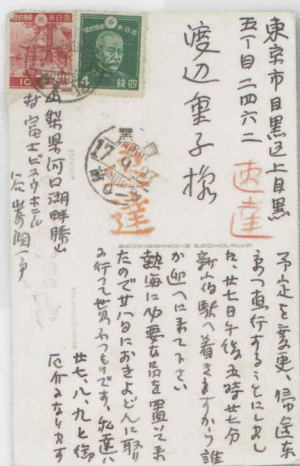


1949年頃*

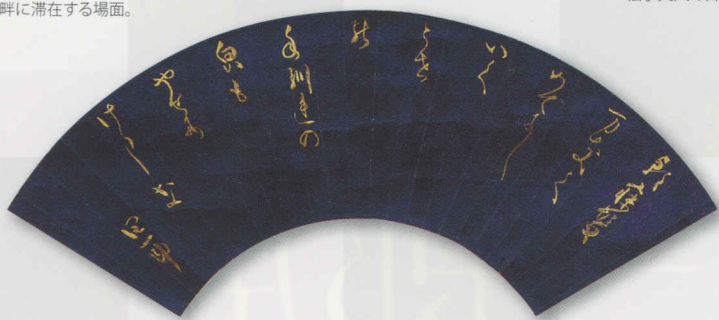
*写真提供 芦屋市谷崎潤一郎記念館



谷崎潤一郎「細雪」下巻原稿
貞之助と幸子が河口湖畔に滞在する場面。



谷崎潤一郎 渡辺重子宛葉書
1942(昭和17)年9月26日消印 当館蔵
河口湖畔にある富士ビューホテル滞在中に、
松子夫人の妹・重子に宛てた給葉書。



谷崎潤一郎
「朝寝髪まきてめでにいくとせの手馴れの貌もやせにけらしな」
扇面軸装 当館蔵 『都わすれの記』(1948年3月 創元社)収録。
詞書には、戦後遅れて京都に戻ってきた妻の様子が添えられている。

明治から昭和にかけて、「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など現代に読み継がれる名作を残した文豪・谷崎潤一郎(一八八六―一九六五)。なかでも「細雪」は、一九三九(昭和十四)年から執筆をはじめ、軍部の弾圧で連載中止になりながらも、終戦をはさむ八年の歳月をかけて完成しました。「細雪」下巻には、一九四二年に松子夫人と河口湖畔の富士ビューホテルに滞在したときの情景が描かれています。一方、「源氏物語」の現代語訳にもとりくみ、戦前戦後にかけて三度刊行されました。戦後も引き続き旺盛な創作力で、「鍵」「瘋癲老人日記」などで話題を集めました。本展では原稿、書簡、書画など約二〇〇点の資料により、谷崎潤一郎の生涯と豊穡な作品世界に迫ります。

関連企画

- ◆ 講演会「『細雪』と非常時のことば」
講師 高橋源一郎(作家・明治学院大学教授)
10月5日(日)午後1時30分～3時00分 講堂 定員500名
- ◆ 講演会「『細雪』の女たち」
講師 千葉俊二(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)
11月3日(月・祝)午後1時30分～3時00分 研修室 定員150名
- ◆ 文学講座
「谷崎潤一郎と河口湖」中野和子(当館学芸員)
10月9日(木)午後1時30分～2時40分 研修室 定員150名
講演会、講座は、当館受付またはお電話でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。いずれも参加無料。
- ◆ 映画会 入場無料 申込不要 講堂 午後1時30分～ 定員500名
定員を超えた場合は、入場をお断りさせていただきます。
10月12日(日) 「細雪」 1983年 東宝
監督 市川崑 出演 岸恵子・佐久間良子・吉永小百合ほか 140分
11月23日(日) 「お遊さま」 1951年 大映
監督 溝口健二 出演 田中絹代・乙羽信子ほか 95分
- ◆ 閲覧室資料紹介「谷崎潤一郎の世界」9月26日(金)～11月24日(月) 入場無料



愛用の詩絵硯箱・筆・文鎮 芦屋市谷崎潤一郎記念館蔵

◆利用のご案内

開館時間 展示室 午前9時～午後5時(入室は4時30分まで)
閲覧室 午前9時～午後7時(土・日・祝日は午後6時)
休館日 9月29日(月)、10月6日(月)・14日(火)、11月4日(火)・10日(月)

◆観覧料

一般600(480)円 大学生400(320)円
()内は20名以上の団体料金です
県内在住の65歳以上の方、障害者及び介護者、小・中・高・特別支援学校生の観覧は無料です。
□前売券 企画展 一般480円 大学生320円
8月27日～9月26日の間に、当館受付で販売いたします。
□県内宿泊施設利用割引のご案内
県内宿泊施設へ宿泊または宿泊予約された方で、宿泊当日または翌日に観覧される場合、個人でも団体料金でご観覧いただけます。宿泊(予定)を証明するもの(領収書・予約クーポン等)を受付へ提示してください。なお20名様以上の団体は対象になりません。



◆交通のご案内

JR中央本線甲府駅より
●甲府駅バスターミナル(南口)6番乗り場から発車するすべてのバスで約15分。「県立美術館」下車。
●タクシーで約15分。(料金1,700円程度)
中央自動車道甲府昭和インターチェンジより
●料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

展覧会や関連事業の詳細をタイムリーにお知らせします。
パソコン版URL→https://twitter.com/#!/bungakukan_ymns/
モバイル版はこちら

